東京都立大学大学院

都市環境科学研究科
都市政策科学域

大学院入試説明会

（博士前期課程・後期課程）

2024年5月12日（10:30開始）

本日のスケジュール

- ①10:30～11:10　以下の事項について説明
- -開会の辞（学域長）
- - 都市政策科学域の教育・研究の概要
- - 指導教員紹介
- - 「特定課題コース」について
- - 「都市政策科学セミナー」、および学際的な指導体制について
- - 「研究室定員」について
- - 筆記試験（筆頭試問）免除、申請様式の請求方法について
- - その他、受験に際しての注意事項
- ②11:10～11:20 Q&A
- ③11:20～12:00 研究室別説明(ブレークアウト・ルーム)

都市環境科学研究科

南大沢キャンパス

世界トップ水準の研究体制で、科学体系としての都市環境科学の確立をめざします。

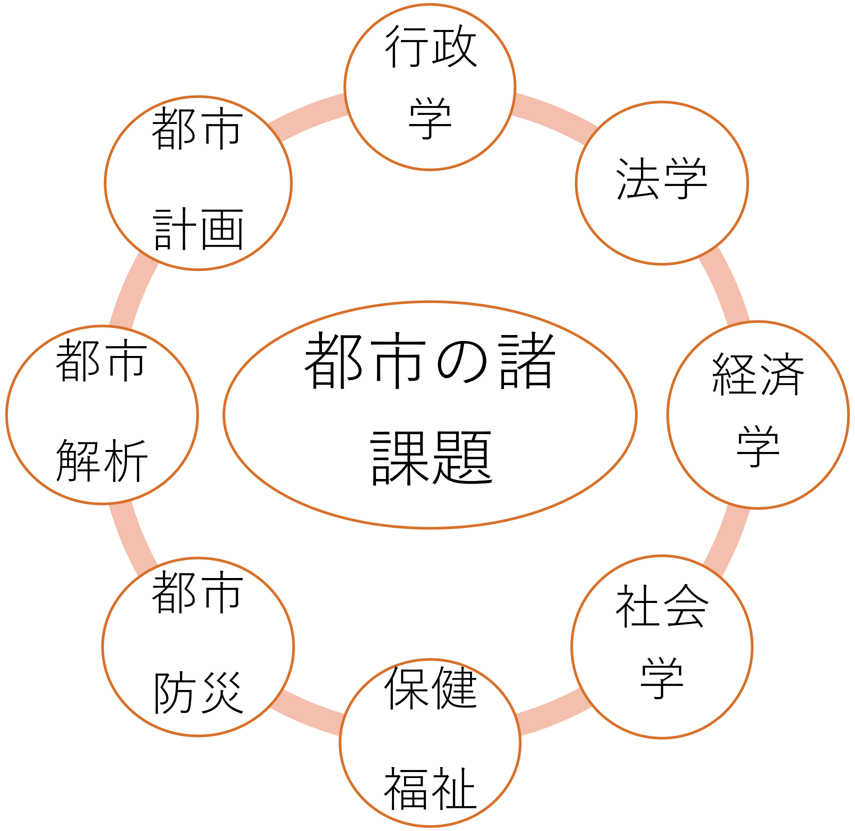
都市環境科学研究科では各分野において世界をリードする国際的研究活動を展開しています。都市環境を構成する「人間」「物質」「エネルギー」「情報」「人工物」「自然」の各要素について、観測と解析を基礎にその相互作用を明らかにします。新たに公共政策の分野を加え、任意の空間・時間における各要素の変動予測・設計・制御が可能となる方法論の開発と社会環境を制御する政策・制度の分析により、持続・発展する都市を構築し得る科学体系としての都市環境科学の確立を目指します。

都市環境の構成要素に関わる専門的な研究領域とそれらが融合した新しい領域を対象に、先進的な研究を推進し、課題の発見・解決によりメガシティの将来を先導する人材の育成を行っています。

都市環境を構成する「人間」「物質」「エネルギー」「情報」「人工物」「自然」の各要素について、観測と解析を基礎にその相互作用を明らかにします。

新たに公共政策の分野を加え…社会環境を制御する政策・制度の分析により、持続する都市を構築し得る科学体系としての都市環境科学の確立を目指します。

都市政策科学域の特色－学際性－



都市政策科学域（博士前期課程）の主な講義・演習	
都市住居論特論	自治体環境行政法特論
参加型デザイン実習	財政学特論
参加型ワークショップ特論	公共政策演習
都市環境計画特論・演習	都市社会論特論・演習
都市防災計画特論・演習	都市コミュニティ論特論・演習
都市政策法務演習	都市健康福祉論特論・演習
法と経済学特論	産業地域デザイン特論
行動法と経済学演習	創造地域デザイン論演習
自治体行政学特論・演習	都市環境経済学特論・演習
質的研究方法法論特論	INFOGRAPHICS 情報の整理と伝え方
都市制度論演習	GIS特別演習

都市政策科学域の教育

- 学生の多様なバックグラウンドに配慮した基礎教育の提供

- 直接の指導教員以外の教員からも広く指導を受けられる

※都立大学大学院学則により、博士前期課程の学生は「指導教授が教育上有益と認めるときは、30単位のうち10単位以内に限り、…当該研究科の他の専攻の授業科目若しくは他の研究科の専攻の授業科目又は学部の授業科目を履修し、これを充当することができる。」とされています。

※また、学域横断型講義なども用意されています。

- 博士前期課程では「特定課題コース」を設定

➢最先端の研究を究めたい学生⇒修士論文を提出（通常のコース）

➢実践的な知識・能力を習得したい学生⇒特定の課題についての研究成果を提出(特定課題コース)

都市政策科学域の特色－分野横断的研究指導－

- 都市政策科学セミナー

　博士前期・後期課程の全学生に対して、学域の全教員が分野横断的な研究指導を行います。

※各教員の専門分野については学域パンフレット参照。

・修士・博士論文

　指導教員（主査）とともに複数の教員（副査）が専門的・学際的・多角的な論文指導を行います。

※過去の修士論文、博士論文は以下から検索できます。

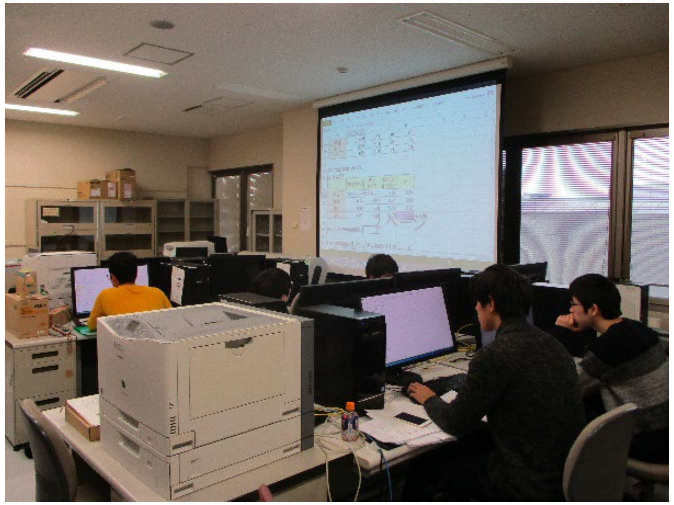
https://tokyo-metro-u.repo.nii.ac.jp/

＞05 都市環境＞0504 都市政策科学

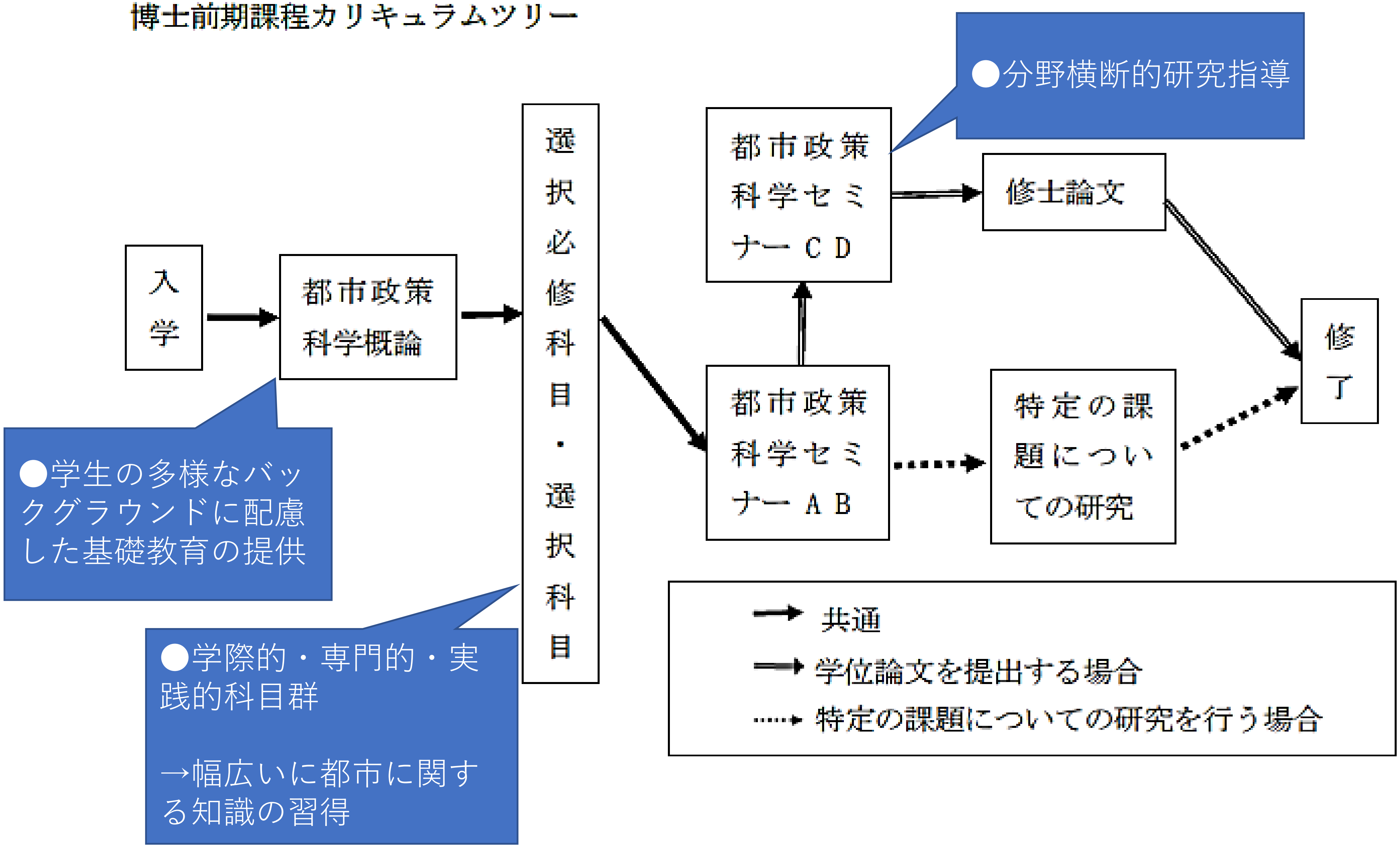
都市政策科学域の特色－実践的な教育・研究指導－

- 都市政策を担う公的機関や民間事業者、NPO、地域コミュニティ組織等との協働研究に基づく実践的な教育・研究活動

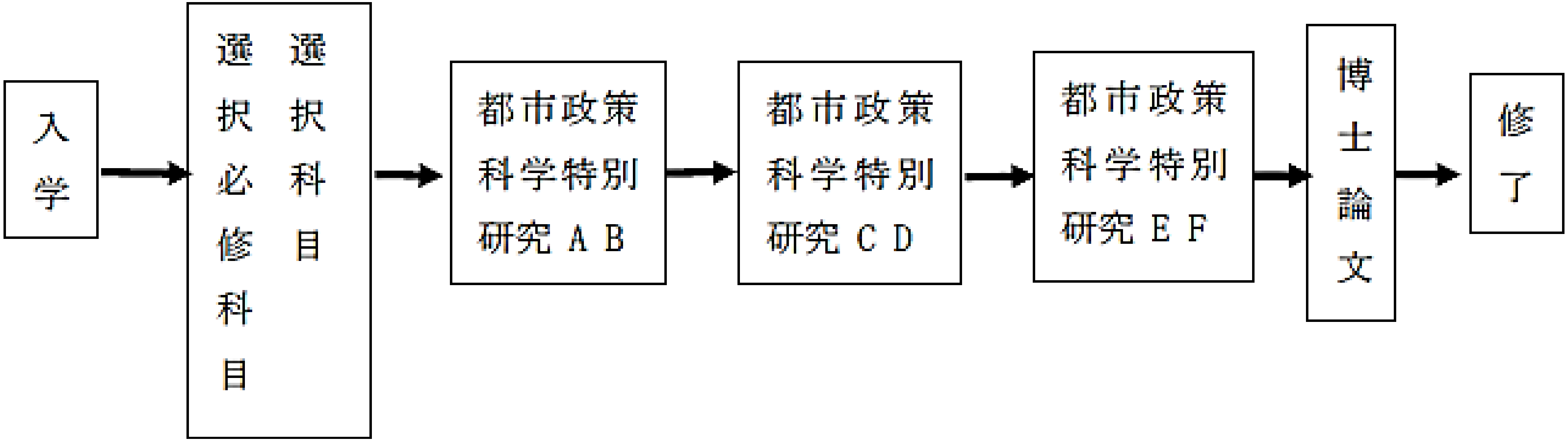
- 地理情報システム、統計解析、社会調査などの実践的なスキルの習得



博士前期課程カリキュラムツリー



博士後期課程カリキュラムツリー



入試入学時期・募集人員

※ 入学時期は、指導を希望する教員と相談して決めること

- 博士前期課程（※社会人特別選抜あり）

　・2025年 4月入学　募集人員：15名

　・2024年10月入学　募集人員：若干名

※募集人員は、原則として、各指導教員４名以内

※2024年10月入学枠は、研究室単位でも受け入れ可能枠が異なります。事前相談等の機会などを通じて各指導教員へ確認してください。

- 博士後期課程

　・2025年 4月入学　募集人員：5名

　・2024年10月入学　募集人員：若干名

社会人特別選抜(博士課程前期)

- 募集人員　募集人員15名のうちの若干名

- 出願資格
- 社会人としての経験と関連した修士論文の研究計画を有する者で、通常の出願資格に加え
- ① 出願時に2年以上の職歴を有し、かつ定職（アルバイトを除く）に就いている者
- ②入学時において、大学卒業後5年以上経過している者　のどちらかの条件を満たす者

- 必ず指導希望教員の同意を得た上で出願をしてください。
- ※志望理由書には、社会人としての経験と修士論文の研究計画の関連を明記することが必要

- 社会人特別選抜については外国語試験を行わない(スコアの提出なし)。

筆記試験免除制度

- 博士前期課程　　学内・学外受験者
- (博士後期課程　　学域内在籍者のみ)

- 対象者(博士前期課程)
- 日本国内の大学の4年次に在籍
- 3年次終了までの成績がGPA換算で2.7以上
- ※GPAスコアが利用できない場合にはそれと同等の成績

- 合格した場合は必ず入学することが条件

- 研究指導を希望する教員と必ず面談を行い許可を得た上で応募してください。
- 筆記試験免除の可否は「書類審査」と「面接審査」で決定

- 一般試験では筆記試験が免除。外国語・面接試験で選考

夏季入試（2024年8月）の日程・具体的内容については、募集要項公表までお待ちください。

入試詳細(募集要項など)は必ず都市環境科学研究科ウェブサイトで確認してください。